



会員の皆さま、こんにちは。秋にも関わらず、まだまだ暑い日が続いていますが、体調を崩されてはいないでしょうか。

さて、今年度も例年にのっとり、つかさ会 秋の講演会を10月15日(日)に開催予定です。今年度は、コロナ禍以前のように、お弁当を会員の皆さまと一緒に食べながら交流を深め、楽しく学べる会にしようと思っております。例年と異なり、参加費1,000円となりますが、素敵なお弁当をご用意しておりますので、奮ってご参加ください。詳細は同封いたします別紙をご参照ください。

では今月は、4月から当科に入局した福田先生に、「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。

本年度入局いたしました、福田真也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今月号の『さかえ』の特集1は『1型糖尿病によるケトアシドーシス(P.8)』、特集2は『脳卒中後のリハビリテーションの今(P.17)』、特別企画は『子どもの肥満と2型糖尿病へのアプローチ(P.33)』、プラスワン講座は『糖尿病と高尿酸血症・痛風(P.40)』となっております。

特集1にあるケトアシドーシスという言葉はみなさんはご存知でしょうか。1型糖尿病の方がインスリン注射を中断してしまうと発症することが多い病気で、発症すると命に関わる危険な状態です。こちらでは、ケトアシドーシスにならないためにインスリンが必要な理由やその仕組み、ケトアシドーシスになってしまう原因やその症状、すぐ入院が必要である理由などが書かれています。少し難しいお話になりますが、通常ではケトアシドーシスになると血糖を測ると高いことがほとんどですが、最近ではSGLT2阻害薬というお薬を飲まれている方は血糖が高くなくても発症していることがあるので注意してください。この原因やその場合にケトアシドーシスを疑うポイントなどもこちらに書かれています。ただ、2型糖尿病の方も安心してはいけません。特にかかりつけのお医者さんからインスリンが必要ですよとされている2型糖尿病の方でも発症する可能性がありますので、ぜひ一緒に読んでみてください。

特集2では脳卒中後のリハビリテーションについて解説されています。脳卒中を発症すると体が思うように動かなくなるということをご存知の方が多いですが、その他にも体のバランスが取れなくなったりしびれが出てきたりと様々な症状があることをご存知でしょうか。こちらの特集では脳卒中の様々な症状に加えて、脳卒中を発症した際の実際のリハビリテーションの方法や最新治療まで書かれていますのでご興味のある方はぜひお読みください。

特別企画では肥満から2型糖尿病を発症する子どもが増えている原因やその治療法について書かれています。さらに肥満になる原因と肥満による糖尿病や脂肪肝といった健康障害についてもまとめられていますので、大人の方もぜひお読みください。

最後にプラスワン講座では糖尿病と痛風の関係についての解説がされています。みなさんは糖尿病と尿酸がお互いに関係していることをご存知ですか。あまり関係なさそうに見えますが、お互いに悪影響を及ぼすと言われており、その原因についてまとめられています。ご自身の尿酸の数値を普段意識していない方は一度確認してみてもいいかもしれません。

季節は秋になりますが猛暑が続いております。夜間も暑い日々が続いておりますので、水分補給をこまめにされまして、くれぐれもご体調にお気をつけてお過ごしください。